

折原美樹ワークショップ開催！

ワークショップ企画 第一弾

『グラハム・メソッドを学ぶ』

受付開始 5月9日(月)

グラハム・テクニクの基礎とレパートリー

マーサ・グラハムにより体系的・理論的に整えられ、その作品においては、人間の内面を表現する舞踊言語・表現方法として確立されてきたグラハム・テクニク。アメリカモダンダンス3大テクニクの1つに数えられるこのテクニクは、モダンダンスはもとより、世界中のバレエカンパニーのトレーニングにも用いられています。マーサ本人から指導を受け、現在はプリンシパルダンサーとしてマーサ自身が踊ったパートを担う折原美樹によるワークショップを開催します。

NYのグラハム・スクール、エイリー・スクール、ペリダンスにてグラハムクラスのファカルティとしても活躍し、自身の言葉でマーサ・グラハムとその作品について伝える事が出来る数少ないアーティストである折原美樹。その折原氏からグラハム・テクニクの基礎と、実際のレパートリーからグラハムの振付を学ぶことができる、貴重な機会です。この機会にぜひご参加ください。

日程：2016年6月2日(木) 19:00～21:00(グラハム・テクニク)

定員：16名(定員に達し次第受付締め切り)

会場：エンジェルロイヤルバレエスクール(片谷バレエスタジオ)

<http://www.angel-r-ballet.info/>

参加費：大人 1,000円(学生 500円)

【お申込み】

郵便番号・住所・氏名・電話番号・所属団体「折原美樹ワークショップ参加希望」と明記して FAX: 018-816-0611 または E-mail: workshop@odoru-akita.org までお申し込みください。

【お問い合わせ】

『踊る。秋田』実行委員会事務局

TEL: 018-874-9037



折原美樹

マーサ・グラハム舞踊団プリンシパル



文化学院卒業後、NYに渡り、ジョフリーバレエ学校、アルビン・エイリー・アメリカン・ダンスセンター、マーサ・グラハム舞踊学校に学ぶ。83年マーサ・グラハム・アンサンブル結成メンバーとなり、87年同舞踊団に正式入団。グラハム他、トワイラ・サープ、ロバート・ウィルソン等の作品に出演。舞踊活動の他、97～98年ブロードウェイ「王様と私」(振付：ジェローム・ロビンス、ラー・ルボビッチ)に出演。パグリジ・フォーマン・ダンスのメンバーとしても活躍。クリエイターとして、作曲家野澤美香とのユニットLOTUS、LOTUS、そしてソロコンサートのプロジェクト「共鳴」を2014年5月にニューヨーク、ラママ劇場にて発表。グラハム・テクニクにおいては、グラハム本人、ユリコ、ソフィー・マスローといった教師に学び、現在NYグラハム舞踊学校、アルビン・エイリー、ペリダンス、バーナード大学、そしてハートスクールにて講師、アメリカ各地の大学、日本でワークショップを開催。01～新国立劇場でバレエ研修生のためのコンテンポラリー・ダンス特別講師を務める。現在マーサ・グラハム舞踊団プリンシパルダンサーとして活躍中。2010年ニューヨークダンス・パフォーマンス賞であるベッシー賞受賞。